

群竹



◇校長あいさつ

令和4年度が始まりました。一向に収束の兆しが見えないコロナ禍ではありますが、これまでの経験を生かし、コロナ禍に負けることなく、生徒それぞれの夢や希望、目標、様々な期待に応え、不安に寄り添いながら、本校が生徒にとって「明日(あす)が待たれる学校」となるよう、今年度1年間の学校教育を一層充実させる所存です。

保護者の皆様には、今年度も本校教育に対し、御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

◇始業式式辞から

本日 4/8(金)は始業式でした。式では各学年を代表して、2年 ○○ ○○さん、3年 ○○ ○○さんから、「新年度の抱負」として、学習や学校生活、部活動、そして進路実現など、具体的な抱負の発表がありました。

校長式辞では、主に2つのことを話しました。要旨を紹介します。

<校長講話抜粋>

出会いは素晴らしいものです。そして出会いは何も人間だけとは限りません。一匹のネズミでもいいですし、一冊の本でもかまいません。

出会いには、夢と希望が宿っています。本日の始業式はまさに新たな出会いの日です。

この出会いは新しい自分の創造だと言っても過言ではありません。人はそれぞれ育った環境が違い、考え方や生活習慣がそれぞれ異なります。そのため、出会いは新たな価値との遭遇でもあります。

「これはこうあるべきで、こうでなければならない」と思っていた考え方が、新しい価値観との出会いによって、「なるほど、こういう考え方もあるのだ」と選択の幅を広げていくのです。

ある人との出会いが古い自分を脱皮させ自分を新しく変えていく、つまり人は、出会いによって一つ成長するのです。出会いには自分を高めることができるチャンスなのです。

ぜひ、新しい出会いを大切に、チャンスを生かし、生徒の皆さんそれぞれのより一層の成長を期待します。

ところで、以前、ニューヨーク市立大学教授 キャシー・デビッドソン氏が「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」と予想していました。

今年度の2・3年生が小学校に入学したのは、2014年・2015年ですの

で、こうしたことが今の中学生の皆さんにも当てはまる可能性があります。そして、こうした時代を生き抜く皆さんに求められる力は、自分で考え、判断し、行動する力です。

「何を今更、そんなことずっと言われてきた」と思う人も多いでしょう。でも、実感している人は少ないと思います。なぜなら、学校では先生の言うこと聞いていれば、ある程度どうにかなるからです。ただし、生徒の皆さんが将来生きていく社会はそうではありません。

社会の変化は大きく複雑で将来を予測することは困難です。そのため、変化を前向きに受け止め、自分で考え、判断し、行動していくことがとても重要になります。

まずは今から、学習も学校生活も、自分で考え、判断し、行動することを意識してください。

生徒の皆さんそれぞれの豊かな感性で、しっかり考え、判断し、行動して、with コロナの新しい田沼東中学校を創造していきましょう。

☆転出入教職員を紹介します

【転出】

- 〇〇 〇〇 教諭 佐野市立常盤小学校へ
- 〇〇 〇〇 教諭 佐野市立北中学校へ
- 〇〇 〇〇 教諭 佐野市立赤見中学校へ
- 〇〇 〇〇 教諭 栃木県立佐野高等学校附属中学校へ
- 〇〇 〇〇 講師 あそ野学園義務教育学校へ
- 〇〇 〇〇 講師 ベトナム ホーチミン日本人学校へ
- 〇〇 〇〇 スクールカウンセラー 御退任
- 〇〇 〇〇 図書事務員 葛生中・常盤中へ
- 〇〇 〇〇 スクールサポートスタッフ 御退任



【3/31 離任式】

【転入】

- 〇〇 〇〇 教諭 佐野市立北中学校から
 - 〇〇 〇〇 教諭 足利市立第一中学校から
 - 〇〇 〇〇 教諭 新規採用（佐野市立南中学校から）
 - 〇〇 〇〇 講師 佐野市立旗川小学校から
 - 〇〇 〇〇 スクールカウンセラー 新規採用
 - 〇〇 〇〇 図書事務員 佐野市立田沼小学校から
 - 〇〇 〇〇 教員業務支援員 新規採用
- 他に初任者指導として、〇〇 〇〇 教諭が週1日勤務します。



※「Web 版校長室だより」では個人名の掲載は控えております